

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

7
Vol.01
2026-27



新年度 スタート特集



持続可能な
インパクトを
生み出そう

ロータリー特別月間
母子の健康月間

(一社)国際ロータリー第2770地区事務所
〒330-0063
さいたま市浦和区高砂1-2-1-116 エイパックスタワー東館1階
TEL 048-827-0022 FAX 048-827-0011



年度初めにあたり

(一社)国際ロータリー第2770地区
2026-27年度ガバナー

三枝 和男(大宮東RC)

第2770地区会員の皆さま、新年度の幕開け大変おめでとうございます。

この一年、ロータリーの活動を通して多くの素晴らしい出会いがあることでしょう。互いにロータリーの楽しさを語り、「参加して良かったと思えるクラブ体験」や「地域に変化をもたらす奉仕活動」を通じて、心に残るモーメント(瞬間)やロータリーの価値観を内外に発信してまいりましょう！

2026-27年度RI会長オンラインカ・ハキーム・ババロラ氏の年次会長メッセージは『CREATE LASTING IMPACT』『持続可能なインパクトを生み出そう』です。
(※ロータリーの公式標語およびビジョン声明との混同を避けるため、会長テーマとロゴは2024-25年度に廃止され、新たな伝統として、ロータリーのビジョン声明と行動計画に意識的に沿った年次会長メッセージが2025-26年度に開始されています。)



この会長メッセージを踏まえ、2026-27年度は以下の2点を強調して皆さまと取り組んで参ります。

1. 会員増強とクラブ体験の向上

会員数の拡大そのものが目的ではありません。多様な人材が歓迎され、役割と居場所を実感できる、「参加して良かったと思えるクラブ体験」をつくるのが会員増強につながります。楽しい例会、楽しいクラブづくりを目指し、クラブ体験の感動を内外に発信し、ロータリーの価値観を共有できる仲間を増やしましょう。

2. 地域に変化をもたらす奉仕活動

奉仕の成果は、事業数や金額だけで測るものではありません。その活動が地域にどのような変化を生み、数年後も良い影響が残っているかが重要です。

地域に変化をもたらす奉仕活動の為に地域を巻き込んでみましょう。

ロータリーの最優先事項である「ポリオ根絶」への取り組みも、歩みを止めることなく進めてまいります。

世界で、地域社会でそして自分自身の中で「持続可能なインパクト」を生み出し、ロータリーを楽しみながらクラブの未来の為に共に全力で駆け抜けてまいりましょう。

直前ガバナーご挨拶



(一社)国際ロータリー第2770地区
2026-27年度直前ガバナー
熊木 雄太郎(戸田RC)

いよいよ三枝ガバナーのスタートを迎えるにあたり、直前ガバナーとして一言ご挨拶申し上げます。

まずは、私がガバナーを務めました一年間、地区内66クラブの皆様をはじめ、ガバナー補佐、地区役員・委員の皆様、そして多くのロータリアンの温かいご理解とご協力に心より感謝申し上げます。皆様のお力添えなくして、地区運営を進めることはできませんでした。

振り返れば、各クラブへの公式訪問、地区行事や周年事業、記念式典への参加、そして数多くの奉仕活動を通じて、ロータリーの持つ大きな力と会員の皆様の情熱を改めて実感した一年でした。地区内では会員増強維持や公共イメージ向上、ロータリー財団・米山記念奨学会への支援、青少年育成など、それぞれのクラブが地域社会のために真摯に活動されている姿に大きな感銘を受けました。

また、「ガバナーは一年かけてガバナーになる」という先輩パストガバナーの言葉を何度も思い返した一年でもありました。多くの経験と学びを通じて成長させていただいたことに、深い感謝の気持ちでいっぱいです。ガバナーという役職は決して一人で務めるものではなく、多くの仲間を支えられながら歩むものだということを実感いたしました。

そして今、そのバトンは三枝ガバナーへと引き継がれます。三枝ガバナーはこれまで地区運営に深く携わり、豊富な経験と優れたリーダーシップを培ってこられました。クラブの自主性を尊重しながら、未来を見据えた地区運営を進めてくださるものと確信しております。

私たちロータリーは、時代の変化に対応しながらも、「超我の奉仕」という不変の理念のもと活動を続けています。会員減少という課題に直面する中であっても、奉仕を通じて人と人をつなぎ、地域社会に持続可能なインパクトを与えることが私たちの使命です。

新たな年度が、三枝ガバナーのもとで実り多き一年となりますことを心より祈念申し上げますとともに、地区内すべてのクラブと会員の皆様のさらなるご発展、ご活躍をお祈り申し上げ、直前ガバナーとしてのお礼とご挨拶とさせていただきます。

一年間、本当にありがとうございました。

地区ラーニングファシリテーターご挨拶



(一社)国際ロータリー第2770地区
2026-27年度地区ラーニングファシリテーター
松本 輝夫(さいたま中央RC)

国際ロータリー第2770地区ロータリアンの皆様、こんにちは、三枝ガバナー年度の地区ラーニングファシリテーターを仰せつかりました松本輝夫です。2021-2022年度がバナーを務めました。三枝ガバナーは、いろいろな面で変革期を迎えているロータリーに斬新なアイデアでクラブを活性化するべく日夜励んでいますので、皆様も三枝ガバナーや私たちと共に一年間走っていただくことをお願いします。このお願いをすることで挨拶を終えていいのですが、少し独り言に付き合ってください。

ある時、ロータリアンに誘われロータリークラブに加入することはギフトであると教えてくださったロータリアンがいらっしゃいました。私などは、ロータリークラブに加入したのが親しい先輩から、しかも私に仕事を依頼してくれている方でしたので、断れず加入したので、何がギフトだ、入会金、会費、更には寄付と立て続けに膨らんでもいない財布が痩せ細っていくことに、「後悔先に立たず」の状況でした。でも、何がギフトなのか考え続けてはいました。

皆さんロータリークラブのロータリーとは何なのか・・・ いつも考え続けることが、クラブを退会せずに来られた原因かもしれません。もちろんロータリアンの仲間に会えたことも力になっていますが、・・・ロータリーがギフトと考えられる答えが少しわかりかけて来ましたのでお話しします。

それは、ロータリーの決議23-34号の1項にあります。2025年版手続要覧3ページの中にあります。ロータリーは何か、それは、『ロータリーは、1つの人生哲学』と書かれています。ですからロータリーは哲学なのです。この哲学の内容は、「利己的な欲求と義務および之に伴う他人のために奉仕したいという感情との間に常に存在する矛盾を和らげようとする」ものだそうです。この哲学こそが奉仕－超私の奉仕なのだそうです。でしたね。俗物的な私には、これがないと誠実に生きていけない哲学ですね。この言葉が私をロータリアンとしてつなぎ止めている言葉です。三枝年度の月信のあいさつにつまらない心の内を話し申し訳ありません。

許容語数がつきてきました。最後にRI事務総長兼最高経営責任者ジョン・ヒューコ氏の2026年1月12日スピーチ「新たな多国間協調主義は、人々の間で起こる。」も読んでください。

ガバナー補佐ご挨拶

第1グループ ガバナー補佐

山内 一浩(浦和RC)



2026～27年度第1グループ ガバナー補佐を拝命しました浦和ロータリークラブ山内一浩です。

2026年1月12日からフロリダ州オーランドでの国際協議会にてオライカ・ハキーム・ババラ国際ロータリー会長は「CREATE LASTING IMPACT」「持続可能なインパクトを生み出そう」というメッセージを打ち出し今後のロータリーの成長と信頼につながる明確なビジョンが示された。これを受けて三枝和男ガバナーは3本の柱を示しました。

MISSION(役割・責務) PASSION(熱意・情熱) ACTION(行動)です。この柱を基にして「2026-27年度の方針」を策定しました。

1. 会員増強とクラブ体験の向上 2. 地域に変化をもたらす奉仕活動

今年度は明確なこの2つの方針に基づいて行動を行っていき、ガバナー補佐としての役割、特に担当クラブの例会、各種会合、その他の行事に積極的に参加し、クラブ目標(策定された戦略目標等)の達成状況を随時確認、地区からの情報発信のみならず、お互いに発信・受信することで情報を交換し、地区、クラブの架け橋となる等をおこないます。また、第1グループ内クラブの融和に努め会長・幹事と共に連携して 実りある1年することに尽力する所存であります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

第2グループ ガバナー補佐

瀧沢 努(さいたま新都心RC)



2026-27年度、第2グループガバナー補佐を務めさせていただきます、さいたま新都心ロータリークラブ所属の瀧沢 努です。

2026-27年度のRI会長オライカ・ハキーム・ババラ氏のメッセージは「CREATE LASTING IMPACT(持続可能なインパクトを生み出そう)」です。本年度、第2770地区三枝ガバナーはこのビジョン声明と「1. 会員増強とクラブ体験の向上 2. 地域に変化をもたらす奉仕活動」この2点の行動計画を地区方針に掲げられました。この地区方針を、いかに各クラブの皆様とともに具現化していくか—その重責に身の引き締まる思いです。私はガバナー補佐として、歴代ガバナー補佐の皆様が築かれてきた伝統と成果を受け継ぎながら、第2グループ各クラブの自主性を尊重し、クラブ間の連携をこれまで以上に強化してまいります。そして、課題解決に向けた「現場の伴走者」として、皆様とともに歩んでいきたいと考えております。一人の力は小さくとも、第2グループの情熱が結集すれば、地域社会に大きなインパクトをもたらすことができます。皆様とともに汗を流しロータリーの喜びを分かち合えることを心より楽しみにしております。どうぞ一年間、温かいご指導とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

ガバナー補佐ご挨拶



第3グループ ガバナー補佐
江本 尚浩(大宮RC)

25年前のロータリー財団の国際職業交流である研究グループ交換プログラムの派遣生の経験は、私のその後の人生を大変豊かにしてくれました。ロータリーに対する感謝の気持ちがこの度の大役を引き受ける動機となっています。

ガバナー補佐として課せられている公式責務のうち、特に第3グループの各クラブと定期的に連絡を取り、クラブの活動状況、リソース、機会についての協議について、三枝ガバナーを補佐することを心掛けて参ります。

ロータリーのビジョン声明と行動計画と今年度RI会長オラインカ・ハキーム・ババロラ氏のメッセージ「CREATE LASTING IMPACT」を踏まえた、三枝ガバナーの強調する1.会員増強とクラブ体験の向上 2.地域に変化をもたらす奉仕活動 について担当クラブの一助になるようしっかりと努めてまいります。

親愛なるロータリアンのみなさま、1年間どうぞよろしくお願いいたします。



第4グループ ガバナー補佐
瀬田 雄一(大宮東RC)

2026～27年度 第4グループガバナー補佐を拝命いたしました大宮東ロータリークラブの瀬田雄一です。この一年間、第4グループの会長・幹事はもとより会員皆様の協力を得て楽しく活力のあるロータリー活動にしていきたいと思っております。

今年度、第4グループよりガバナーを輩出しております。皆様の力で第4グループを盛り上げていきましょう。

今年度の地区の方針

1. 会員増強とクラブ体験の向上
2. 地域に変化をもたらす奉仕活動

この2点を重点的にサポートしていきたいと考えております。

同じクラブの三枝和男ガバナーを支え、各クラブが有意義な一年になりますようパイプ役として務めてまいりますので皆様のご指導、ご協力をお願い申し上げます。

ガバナー補佐ご挨拶

第5グループ ガバナー補佐

久保田 勲(上尾RC)



2026～27年度第5グループガバナー補佐を拝命致しました、上尾ロータリクラブの久保田 勲です。

三枝ガバナーのご指導のもと、第5グループ会員の皆様のご理解ご協力を賜りながら懸命に努めさせていただきますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

ガバナー補佐の役割として、各クラブと地区との伝達役となって地区の考えなどを、

各クラブに伝達させて頂き、より良い2770地区なるよう努めさせて頂きたいと思っております。

私が大切にしたいと考えていることは、「つなぐ」という役割です。組織とクラブをつなぐ、人と人をつなぐ、想いと行動をつなぐ。その橋渡しを丁寧に行うことが、ガバナー補佐の本質的な役割だと感じております。制度や仕組みだけでなく、そこに関わる一人ひとりの気持ちや背景にも目を向けながら、円滑な運営と前向きな活動を支えていきたいと思っております。

2026～27年度RIオンラインカ・ハキーム・ババロラ会長のテーマ「CREATE LASTING INNPACT」を基に、国際ロータリー2770地区三枝和男ガバナーが地区運営方針を挙げています。

各クラブが楽しいクラブづくり、自己研鑽の場となるようなロータリーの楽しさ、ロータリーモーメントを伝えてMISSION(役割・責務)・PASSION(熱意・情熱)・ACTION(行動)を軸に持続可能な変化やインパクトを進めていきたいと思っております。

第5グループは9クラブと大所帯でございますので、各クラブの会長の思いや仲間との絆を基礎にクラブ間同士で行える奉仕活動実践できればと考えておりますので、この一年間皆様のご指導ご支援ご協力の程よろしくお願い致します。

第6グループ ガバナー補佐

坂寄 栄司(春日部イブニングRC)



今年度、第6グループのガバナー補佐を拝命致しました、春日部イブニングロータリークラブの坂寄栄司です。皆様のお力添えを頂きながら2026-2027年度、三枝ガバナーと第6グループ内5クラブの皆様とを結ぶパイプ役として務めて行きたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

2026-2027年度は、オンラインカ・ハキーム・ババロラRI会長は「CREATE LASTING IMPACT 持続可能なインパクトを生み出そう」というメッセージを発表されました。そして三枝ガバナーも同様に、地区の優先事項として「より大きなインパクトをもたらす」という方針を掲げられました。具体的には、地域の人々や地元の協力団体を巻き込んだ奉仕活動を推進することを目標に掲げています。今一度ロータリーの原点に立ち返り、同じ目的を持った仲間たちが手を取り合い、共に前に進んで行く事を目指します。そして寄付の増進を募り、持続可能なインパクトを生み出していく活動をグループで行うことを検討したいと思います。三枝ガバナーが掲げる①MISSION(役割・責務)②PASSION(熱意・情熱)③ACTION(行動)のもと、絶え間なく変化し多様化する世界に適応していくことこそロータリーの価値が向上しクラブ活性化に繋がるのではないのでしょうか？

とはいえ、クラブが楽しくなければ持続しません。明るく楽しく元気よくをモットーに、私のできることは微力ではございますが一生懸命務めさせていただきますので、皆様のご指導ご鞭撻、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

ガバナー補佐ご挨拶



第7グループ ガバナー補佐
大橋 秀樹(幸手中央RC)

このたびガバナー補佐という大役を仰せつかり地区への出向も初めての経験となります。三枝ガバナーと地区の方針を各クラブに伝え、地区とグループとの連携をスムーズなものに行きたいと考えます。第7グループは4クラブと少ない分、日頃からポリオイベントの合同開催などクラブを越えた友人関係も多いので心強く思っています。また今後のグループ再編では対象グループとなっていく可能性もあり、グループ内での情報共有と意思疎通には心を配り、クラブと地区のパイプ役として、各クラブへの定期的な訪問、地区へのクラブ現状報告、公式訪問時のガバナーとの連携、会長幹事会の開催など、補佐としての役割を全うできるよう1年にしたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。



第8グループ ガバナー補佐
会田 皓章(越谷東RC)

2026-2027年度国際ロータリー第2770地区第8グループガバナー補佐を務めさせていただきます
会田皓章(越谷東ロータリークラブ)でございます。よろしくお願い致します。

さて、2026-27年度RI会長オンラインカ・ハキーム・ババロラ氏の会長メッセージは「CREATE LASTING IMPACT」「持続可能なインパクトを生み出そう」であり、今年度も、地区やクラブが独自のテーマを作るのではなく、一つのボイスで一貫した取り組みが行われるよう目指すと発信されています。

三枝ガバナーも会長発信を踏まえ地区方針として「会員増強とクラブ体験の向上」と「地域の変化をもたらす奉仕活動」を掲げております。わが第8グループはどのクラブも活発に活動をしており、会員増強の基本である参加して楽しいクラブであることや、それぞれのクラブが地域に根差した活動も行われております。今年度はさらにグループ内での情報を共有して、益々活発な第8グループになるようガバナー補佐としてお役に立てればと考えております。グループの皆様ご協力の程よろしくお願い致します。

ガバナー補佐ご挨拶



第9グループ ガバナー補佐

小越 朋樹(八潮みらいRC)

2026-27年度、第2770地区第9グループガバナー補佐を拝命いたしました、八潮みらいロータリークラブの小越でございます。

本年度の第9グループは、2クラブ減少し、3クラブ体制で新たなスタートを切ることとなりました。

このような節目だからこそ、近隣で地域性の近いクラブ同士が、これまで以上に連携を深め、互いに学び合い、支え合っていくことが大切であると感じております。

三枝和男ガバナーが掲げるMISSION(使命)・PASSION(情熱)・ACTION(行動)のもと、各クラブがそれぞれの強みと特色をいかしながら、魅力あるクラブづくりと、地域に変化をもたらす奉仕に取り組むことが、グループの力につながるものと考えております。

ガバナー補佐として、各クラブの思いに丁寧に耳を傾けながら、実りある一年となるよう努めてまいります。

第9グループをはじめ、地区内各クラブの皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。



第10グループ ガバナー補佐

篠田 昌伸(吉川中央RC)

ガバナー補佐として最も重要な使命は、クラブ会員の良き理解者であり、また心強い味方であり続けることと考えております。それと同時に、本年度の三枝ガバナーがロータリークラブに寄せる思いを、各クラブへ正確かつ誠実にお伝えすることが、クラブの発展に自ずとつながっていくものと確信しております。

具体的には、財団への寄付、米山記念奨学会への寄付、会員の増強・維持など、多岐にわたる課題に取り組む必要があります。ガバナーの思いを真摯に受け止め、会員の皆様に丁寧にお伝えできるよう、誠心誠意努めてまいります所存でございます。

ガバナー補佐ご挨拶



第11グループ ガバナー補佐
嶋田 悟志(鳩ヶ谷武南RC)

第11グループ川口／鳩ヶ谷武南ロータリークラブの嶋田です。

2012年に入会し、ロータリアンとして15年目を迎えます。当時はガバナー補佐を受けることなど想像もつきませんでしたし、今も私で良いのかと感じております。

まだまだロータリーの知識も足りませんが、クラブに貢献できていることと言えば、今まで15名の会員増強をしたことと、会長年度にアクトクラブをつくったことです。

その経験を活かし第11グループ全体の会員増強もしていきたいです。

私自身ロータリーに入会して良かったことは自クラブだけでなく、11グループの皆様と仲良くなれたことです。

ロータリー活動を通じて仕事、趣味でのたくさんの仲間ができました。

三枝ガバナーは本当に勉強家でたくさんの知識を持った方です。これから一年間ご指導を受け、学び、益々の第2770地区、第11グループの発展に努めさせていただきたいと思っております。

皆様一年間宜しくお願い致します。



第12グループ ガバナー補佐
川島 健(川口西RC)

ガバナーはRIからRIの役員として地区に派遣され、ロータリーの目的、使命、ビジョンを実行する為に、具体的には理事会決定内容に従った活動を担当地区で行う事になりますので、補佐はガバナーの仕事をよく理解して、地区チーム、クラブ会長様、と協力して、地区の活性化に努めて参ります。其の為には、クラブの活性化が大切ですので、担当グループの7クラブの会長様との気楽な相談相手になり、努めていきたいと思っております。そして、組織は人数と財務基盤が基本ですので、特に増強について、お互い情報交換をしていきたいと思っております。又、当グループの補佐はクラブ創立順で決まります。そして、クラブにより人数の多いクラブ、少ないクラブ等個性がありますので、より効果的で、柔軟性を持って、無理のない、補佐業務の運営を考えています。

全体事業では、例年通り、10月24日(土)に乳がん予防運動である「ピンクリボンウオーク」に参加します。IMは2月26日(金)に新装なったりリアで行います。一年間宜しくお願い致します。

2026年ロータリー国際大会 台北（台湾）

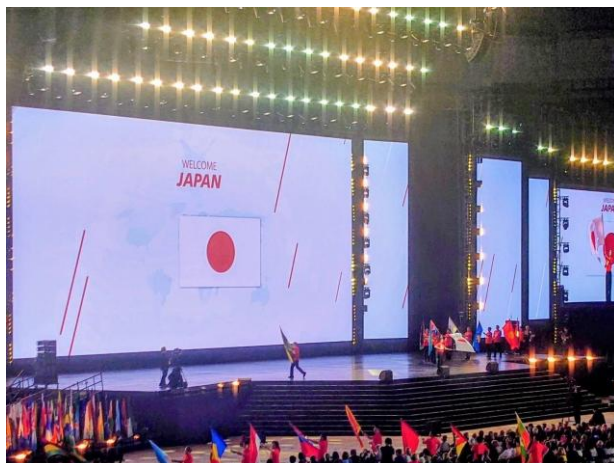
台湾国際大会開催

2026年6月13日から17日まで、台湾・台北ドームにて国際大会が開催されました。

国際大会に合わせまして13日(土)に台湾・リージェント台北にて(一社)国際ロータリー第2770地区の『地区ナイト』が盛大に開催されました。

地区ナイトには約350名の方にお集まりいただき、美味しいお食事とアトラクションと、とても楽しい有意義な時間を過ごすことができました。

熊木直前ガバナー・福永直前地区幹事はじめ関係者の皆様方1年間大変お疲れ様でした。



(一社)国際ロータリー第2770地区ナイト



公式訪問日程表

曜日	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
月							
火			1 さいたまシティ			1 ガバナー会議ほか	
水	1 ガバナー会		2 浦和北			2 R財団地域セミナー	
木	2		3 吉川中央	1 大宮南		3 ローターリー研究会	
金	3		4	2		4 ローターリー研究会	1
土	4	1	5 青少年奉仕部門Sセミナー	3		5	2
日	5	2	6	4	1	6	3
月	6 第1回諮問委員会	3 さいたま新都心	7	5 地区大会記念ゴルフ	2	7	4
火	7	4 八潮	8 鴻巣	6 幸手中央	3 文化の日	8 大宮北東	5
水	8	5	9	7 鴻巣水曜	4 川口南	9 川口むさし野	6
木	9	6 浦和東	10 さいたま中央	8 久喜	5 八潮みらい	10 鳩ヶ谷	7
金	10	7	11	9 第2回諮問委員会	6	11 第6回合同会議	8
土	11	8	12	10	7	12	9
日	12	9	13	11	8	13	10
月	13 戸田	10	14 大宮シティ	12 スポーツの日	9	14 第3回諮問委員会	11
火	14 三郷	11 山の日	15 草加松原	13	10 蕨 松伏	15	12 川口シティ鳩ヶ谷
水	15 大宮	12	16 浦和ダイヤモンド	14 上尾西	11	16	13 大宮東
木	16	13	17 春日部西	15 杉戸	12	17 川口北	14
金	17 浦和	14	18	16 第5回合同会議	13	18	15
土	18 川口モーニング	15	19 米山記念奨学部門セミナー	17	14 地区大会	19	16
日	19	16	20	18	15 地区大会	20	17
月	20 海の日	17	21 敬老の日	19 川口中央	16	21	18
火	21 岩槻東	18 浦和北東	22 国民の休日	20 越谷	17 川口西	22	19
水	22 幸手	19 越谷北	23 秋分の日	21 蓮田	18 鴻巣イブニング	23	20
木	23 越谷南	20 川口	24 北本	22 桶川イブニング	19 春日部イブニング	24	21
金	24	21	25 奉仕プロジェクト部門セミナー	23	20	25	22
土	25 管理・増強・RAC部門セミナー	22	26 ローターリー財団部門セミナー	24 さいたま大空	21	26	23
日	26	23	27	25	22	27	24
月	27 浦和南	24	28 大宮西	26	23 勤労感謝の日	28	25
火	28 春日部	25 大宮中央	29 さいたま樺	27 川口東	24 三郷中央	29	26
水	29	26 川口/鳩ヶ谷武南	30 春日部南	28 桶川	25	30	27
木	30 上尾	27 岩槻 浦和中		29 越谷東	26 戸田西	31	28
金	31	28 上尾北		30 地区大会実行委員会	27		29
土		29		31	28		30
日		30			29		31
月		31			30		

※右寄せのロータリークラブは、夜点鐘。

(一社)国際ロータリー第2770地区事務所

〒330-0063

さいたま市浦和区高砂1-2-1-116 エイバックスタワー東館1階

TEL 048-827-0022 FAX 048-827-0011

E-mail : ri2770@ri2770.com URL : <https://www.ri2770.com/>

